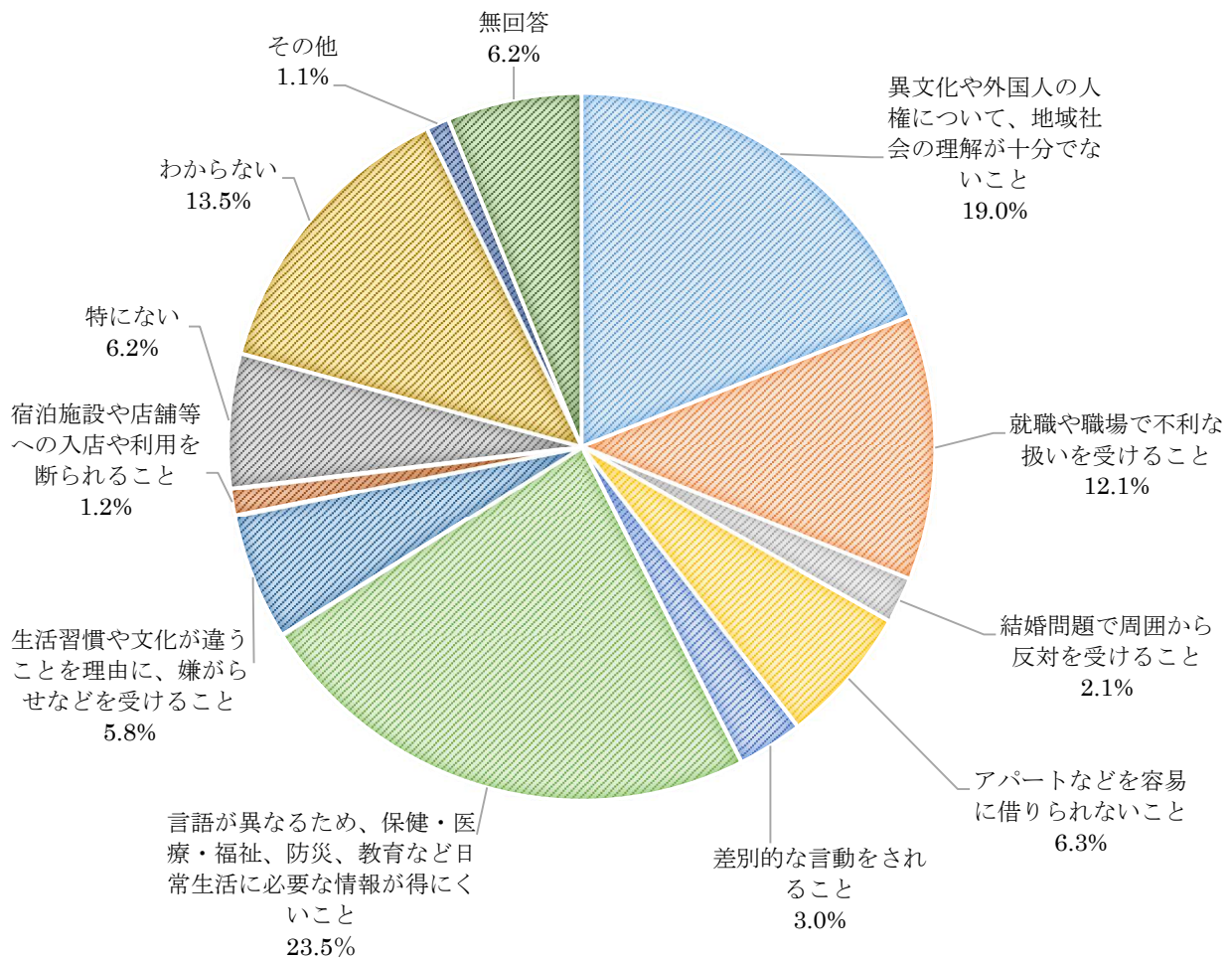


○外国人の人権について

問 20 あなたは、日本に居住している外国人に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)

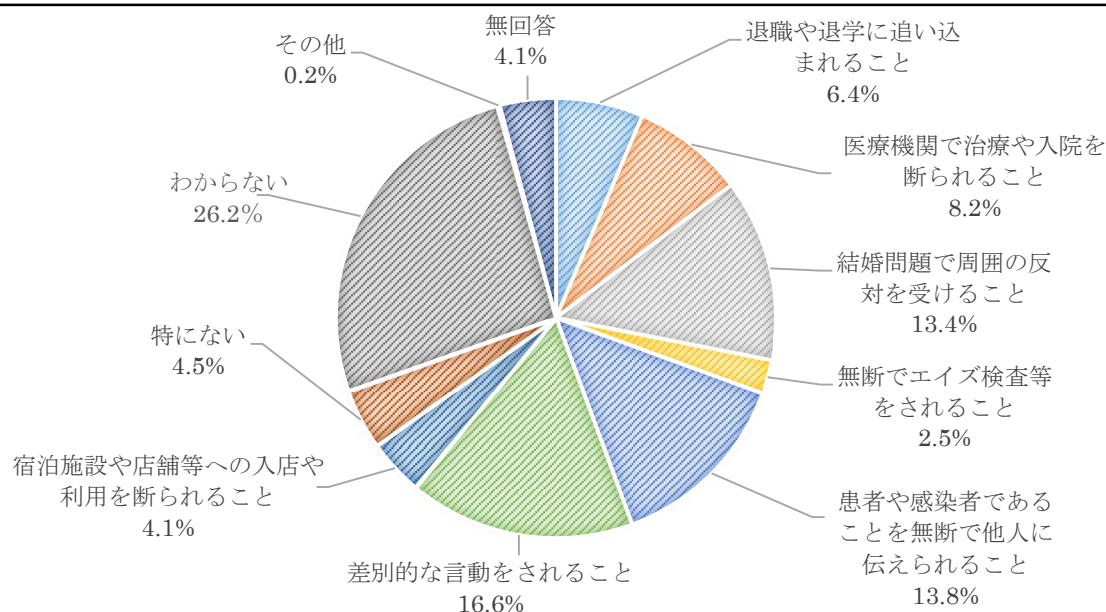


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	異文化や外国人の人権について、地域社会の理解が十分でないこと	108	19.0	20.3	19.9
2	就職や職場で不利な扱いを受けること	69	12.1	13.6	9.7
3	結婚問題で周囲から反対を受けること	12	2.1	3.7	5.6
4	アパートなどを容易に借りられないこと	36	6.3	7.7	6.5
5	差別的な言動をされること	17	3.0	4.7	4.4
6	言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育など日常生活に必要な情報が得にくいこと	134	23.5	24.4	23.6
7	生活習慣や文化が違うことを理由に、嫌がらせなどを受けること	33	5.8	6.0	6.9
8	宿泊施設や店舗等への入店や利用を断られること	7	1.2	1.4	1.0
9	特にない	35	6.2	2.9	6.3
10	わからない	77	13.5	12.7	12.6
11	その他	6	1.1	0.2	0.4
12	無回答	35	6.2	2.4	3.1
	合計	569	100	100	100

※「結婚問題で周囲から反対を受けること」や「差別的な言動をされること」が減少傾向にある。

○H I V感染者等の人権について

問 21 あなたは、エイズ患者・H I V（エイズウイルス）感染者やその家族に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。（複数回答）

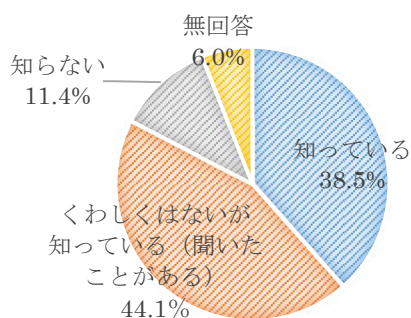


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	退職や退学に追い込まれること	36	6.4	9.0	8.6
2	医療機関で治療や入院を断られること	46	8.2	6.8	7.0
3	結婚問題で周囲の反対を受けること	75	13.4	20.6	19.4
4	無断でエイズ検査等をされること	14	2.5	2.0	2.1
5	患者や感染者であることを無断で他人に伝えられること	77	13.8	12.5	13.7
6	差別的な言動をされること	93	16.6	17.6	16.1
7	宿泊施設や店舗等への入店や利用を断られること	23	4.1	4.8	5.4
8	特にない	25	4.5	3.2	3.4
9	わからない	146	26.2	20.9	20.6
10	その他	1	0.2	0.1	0.6
11	無回答	23	4.1	2.5	3.1
	合計	559	100	100	100

※「結婚問題で周囲の反対を受けること」や「退職や退学に追い込まれること」が減少している。

○ハンセン病患者等の人権について

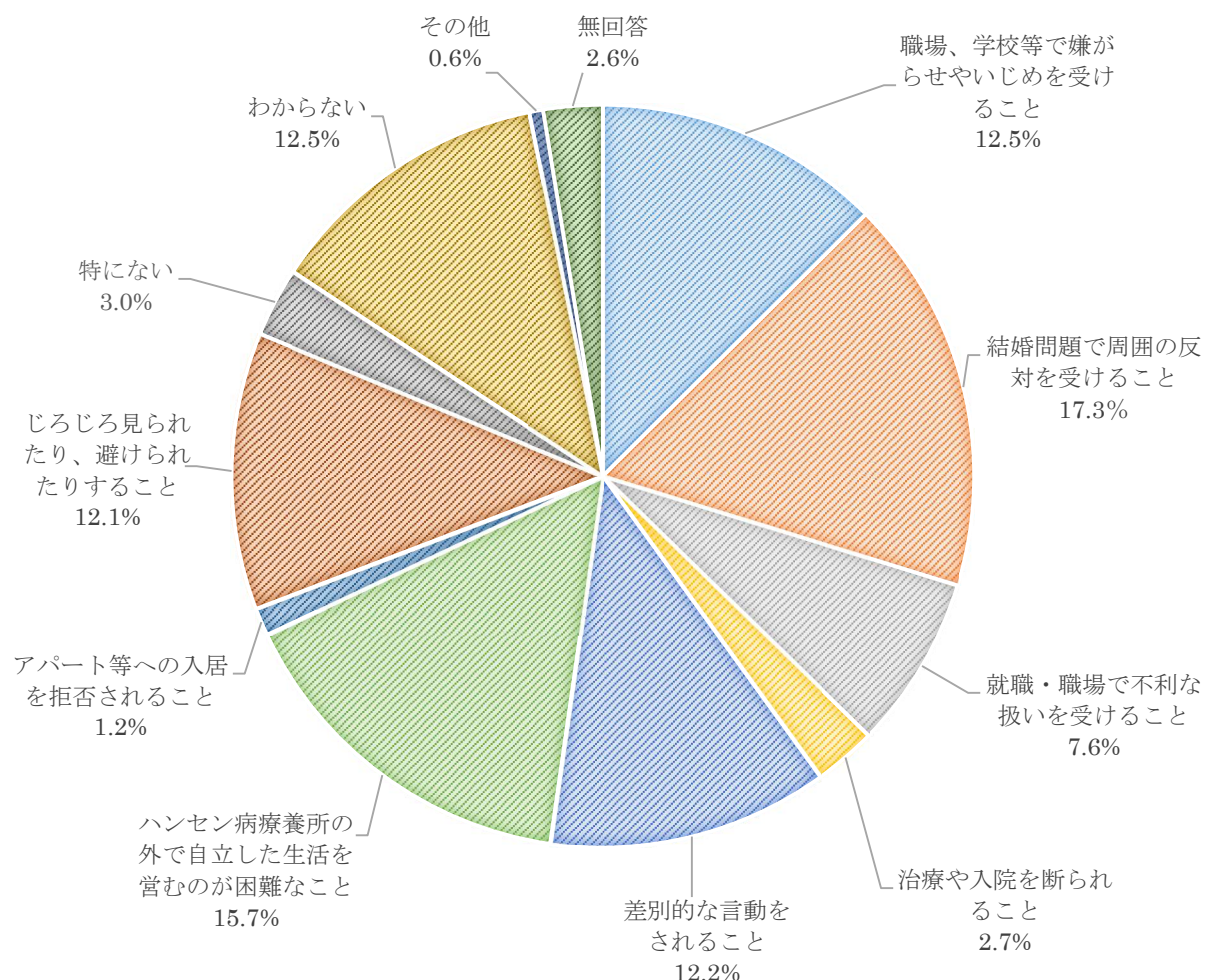
問 22 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関する人権問題があることを知っていますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	知っている	135	38.5	調査なし	調査なし
2	くわしくはないが知っている（聞いたことがある）	155	44.1		
3	知らない	40	11.4		
4	無回答	21	6.0		
	合計	351	100		

※「くわしくはないが知っている」と「知らない」で半数を超えている。

問 23 あなたは、ハンセン病患者・回復者やその家族に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)

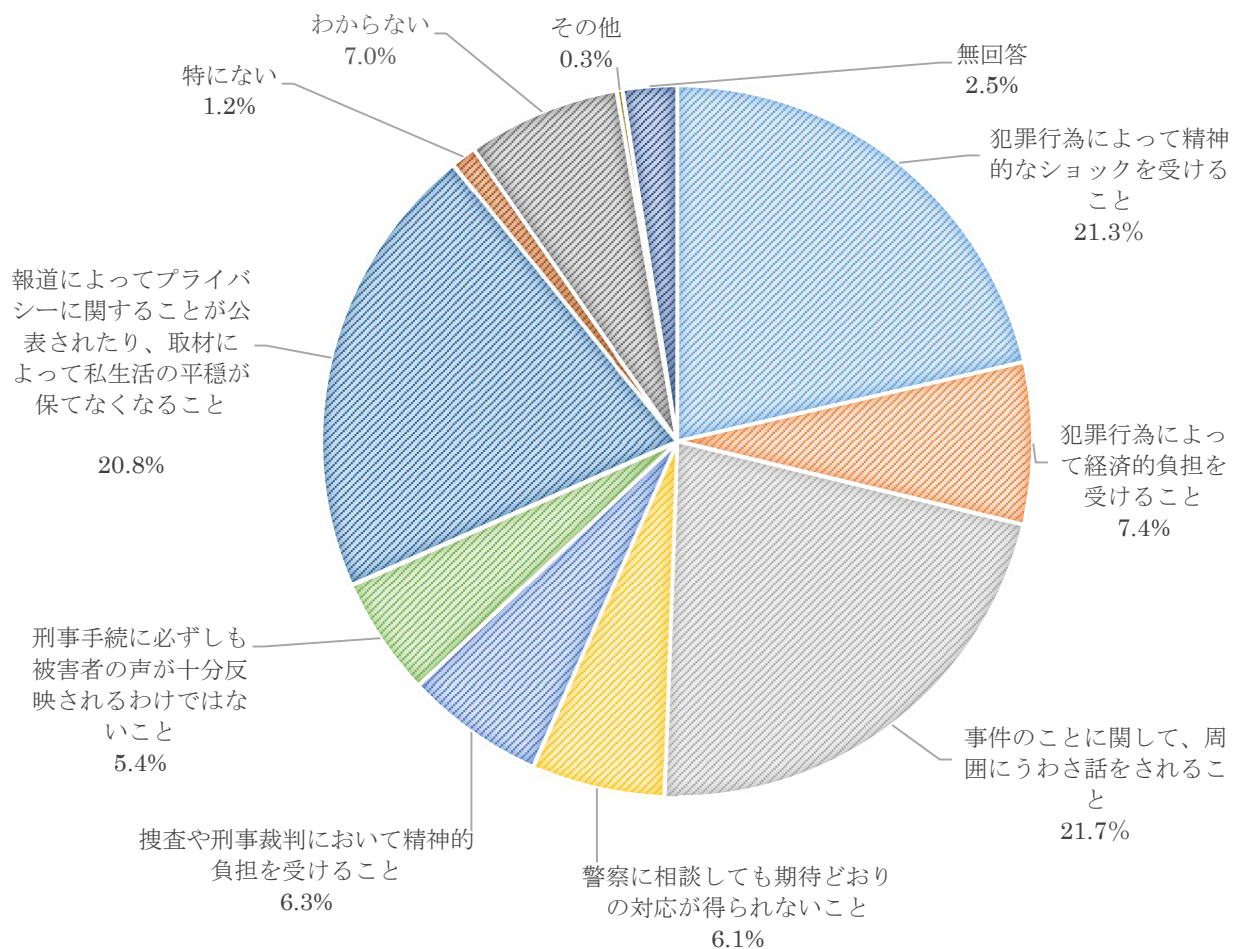


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	83	12.5	8.7	7.1
2	結婚問題で周囲の反対を受けること	114	17.3	14.3	13.6
3	就職・職場で不利な扱いを受けること	50	7.6	11.9	7.4
4	治療や入院を断られること	18	2.7	1.5	1.8
5	差別的な言動をされること	81	12.2	12.8	10.1
6	ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと	104	15.7	11.9	17.5
7	アパート等への入居を拒否されること	8	1.2	4.1	5.2
8	じろじろ見られたり、避けられたりすること	80	12.1	11.6	14.3
9	特にない	20	3.0	2.3	2.9
10	わからない	83	12.5	18.3	16.6
11	その他	4	0.6	0.1	0.6
12	無回答	17	2.6	2.5	2.9
	合計	662	100	100	100

※「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」や「結婚問題で周囲の反対を受けること」が増加し、「就職・職場で不利な扱いを受けること」や「わからない」が減少している。

○犯罪被害者等の人権について

問 24 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。（複数回答）

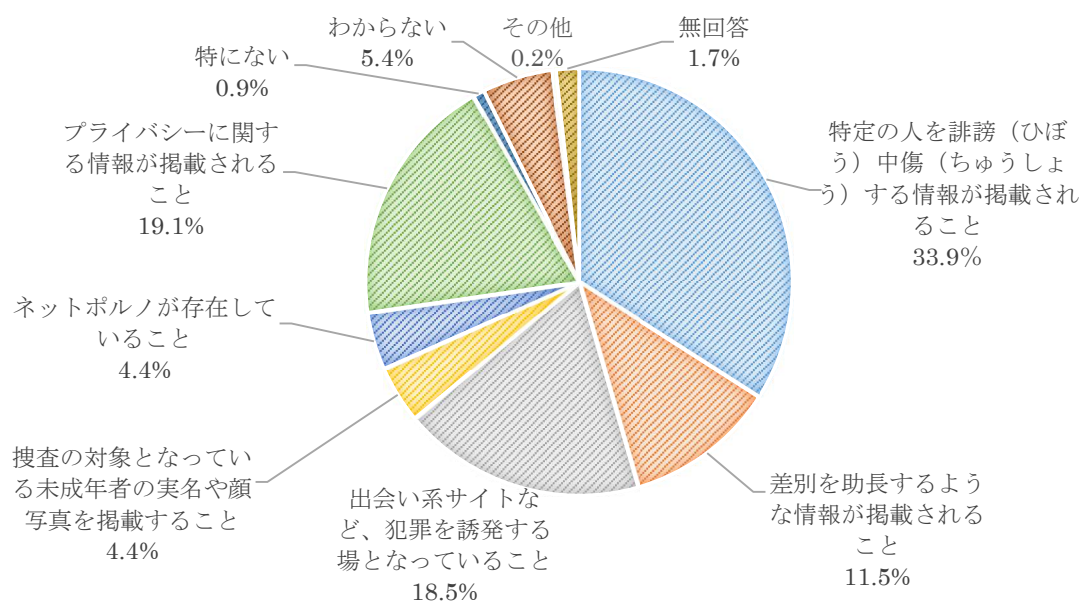


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	犯罪行為によって精神的なショックを受けること	166	21.3	25.0	21.6
2	犯罪行為によって経済的負担を受けること	57	7.4		
3	事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	169	21.7	17.7	18.9
4	警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと	47	6.1	9.1	11.9
5	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	49	6.3	7.7	8.9
6	刑事手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	42	5.4	7.5	7.0
7	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	161	20.8	23.0	24.0
8	特になし	9	1.2	2.1	0.9
9	わからない	54	7.0	5.6	4.5
10	その他	2	0.3	0.6	0.3
11	無回答	19	2.5	1.7	2.0
	合計	775	100	100	100

※「犯罪行為によって精神的なショックを受けること、経済的負担を受けること」、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が増加し、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」や「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」が減少している。

○インターネットによる人権侵害について

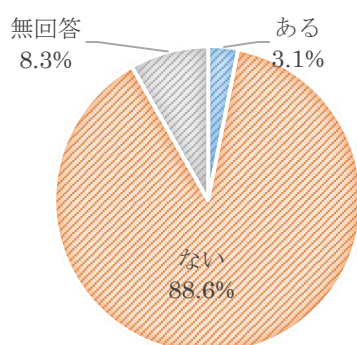
問 25 あなたは、インターネット上において、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	特定の人を誹謗（ひぼう）中傷（ちゅうしょう）する情報が掲載されること	273	33.9	31.9	29.8
2	差別を助長するような情報が掲載されること	92	11.5	12.6	12.2
3	出会い系サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること	148	18.5	16.8	21.7
4	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	35	4.4	4.1	4.2
5	ネットポルノが存在していること	35	4.4	4.3	4.1
6	プライバシーに関する情報が掲載されること	153	19.1	22.1	19.5
7	特にない	7	0.9	1.0	1.2
8	わからない	43	5.4	5.3	4.8
9	その他	2	0.2	0	0.2
10	無回答	14	1.7	1.9	2.3
	合計	802	100	100	100

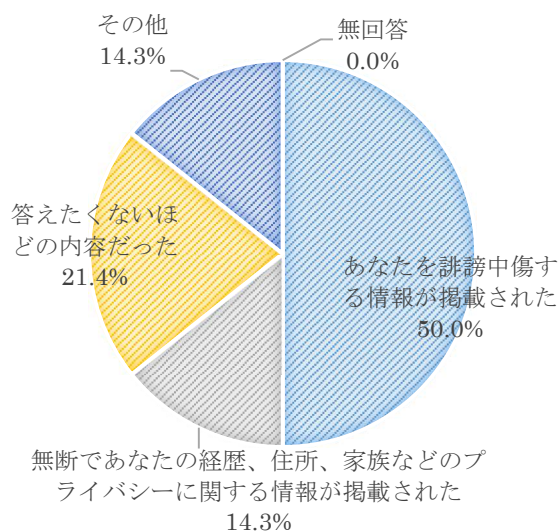
※「特定の人を誹謗中傷する情報が掲載されていること」や「出会い系サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること」が増加している。

問 26 あなたは、自分自身がインターネット上において、被害を受けたことがありますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	ある	11	3.1
2	ない	311	88.6
3	無回答	29	8.3
	合計	351	100

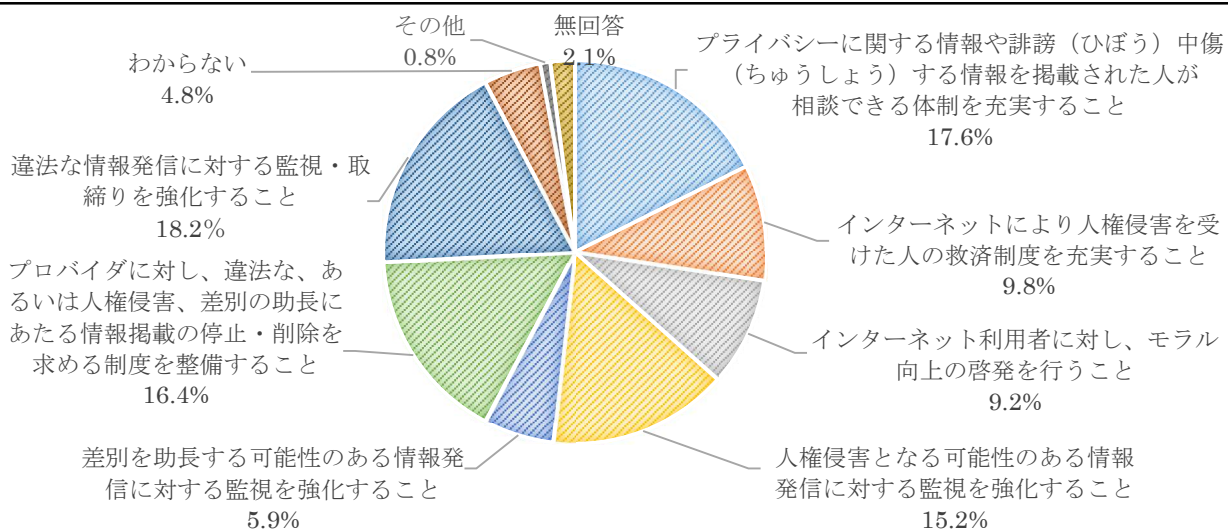
問 26- (1) それはどのようなものでしたか。(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	あなたを誹謗中傷する情報が掲載された	7	50.0
2	無断であなたの実名や顔写真が掲載された	0	0.0
3	無断であなたの経歴、住所、家族などのプライバシーに関する情報が掲載された	2	14.3
4	答えたくないほどの内容だった	3	21.4
5	その他	2	14.3
6	無回答	0	0.0
	合計	14	100

※「誹謗中傷する情報が掲載された」が半数を占めている。

問 27 あなたは、インターネットによる人権侵害を解決するために必要なことは、何だと思いますか。(複数回答)

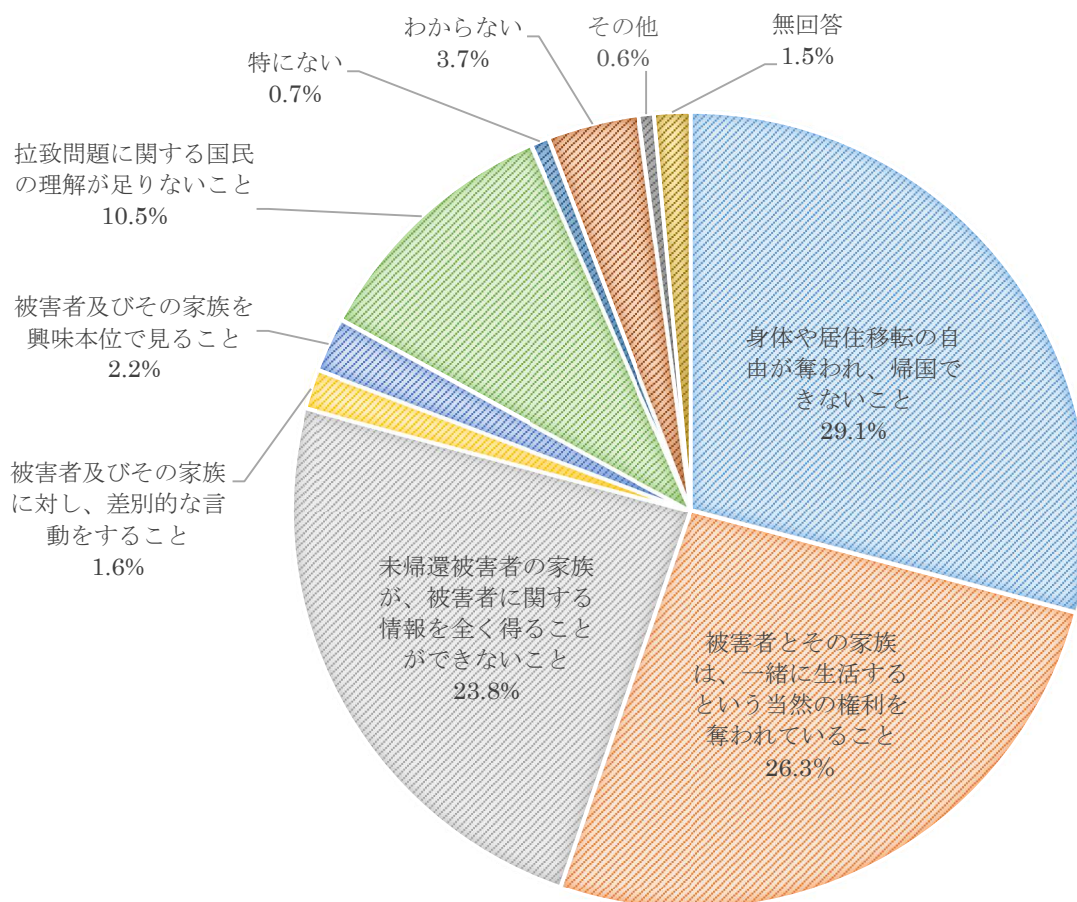


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	プライバシーに関する情報や誹謗（ひぼう）中傷（ちゅうしょう）する情報を掲載された人が相談できる体制を充実すること	146	17.6
2	インターネットにより人権侵害を受けた人の救済制度を充実すること	81	9.8
3	インターネット利用者に対し、モラル向上の啓発を行うこと	76	9.2
4	人権侵害となる可能性のある情報発信に対する監視を強化すること	126	15.2
5	差別を助長する可能性のある情報発信に対する監視を強化すること	49	5.9
6	プロバイダに対し、違法な、あるいは人権侵害、差別の助長にあたる情報掲載の停止・削除を求める制度を整備すること	136	16.4
7	違法な情報発信に対する監視・取締りを強化すること	150	18.2
8	わからない	40	4.8
9	その他	7	0.8
10	無回答	17	2.1
	合計	828	100

※「違法な情報発信に対する監視・取締りを強化すること」や「誹謗中傷する情報を掲載された人が相談できる体制を充実すること」が多くなっている。(前回調査なし)

○北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権について

問 28 あなたは、北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)

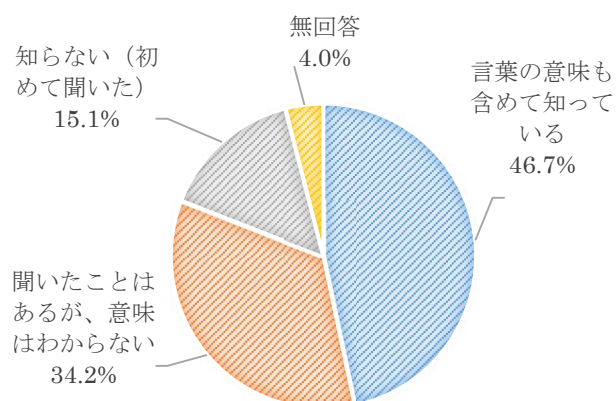


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	身体や居住移転の自由が奪われ、帰国できないこと	236	29.1	28.6	29.1
2	被害者とその家族は、一緒に生活するという当然の権利を奪われていること	212	26.3	27.8	28.6
3	未帰還被害者の家族が、被害者に関する情報を全く得ることができないこと	193	23.8	23.8	23.1
4	被害者及びその家族に対し、差別的な言動をすること	13	1.6	0.7	0.8
5	被害者及びその家族を興味本位で見ること	18	2.2	1.1	2.6
6	拉致問題に関する国民の理解が足りないこと	85	10.5	10.6	9.4
7	特になし	6	0.7	0.5	0.3
8	わからない	30	3.7	5.1	3.8
9	その他	5	0.6	0.2	0.4
10	無回答	12	1.5	1.6	1.9
	合計	810	100	100	100

※前回調査と比較すると各項目で大きな増減はない。

○性的指向・性自認（ジェンダーアイデンティティ）の人権について

問 29 あなたは、「LGBT」（エルジービーティー）という言葉を知っていますか。

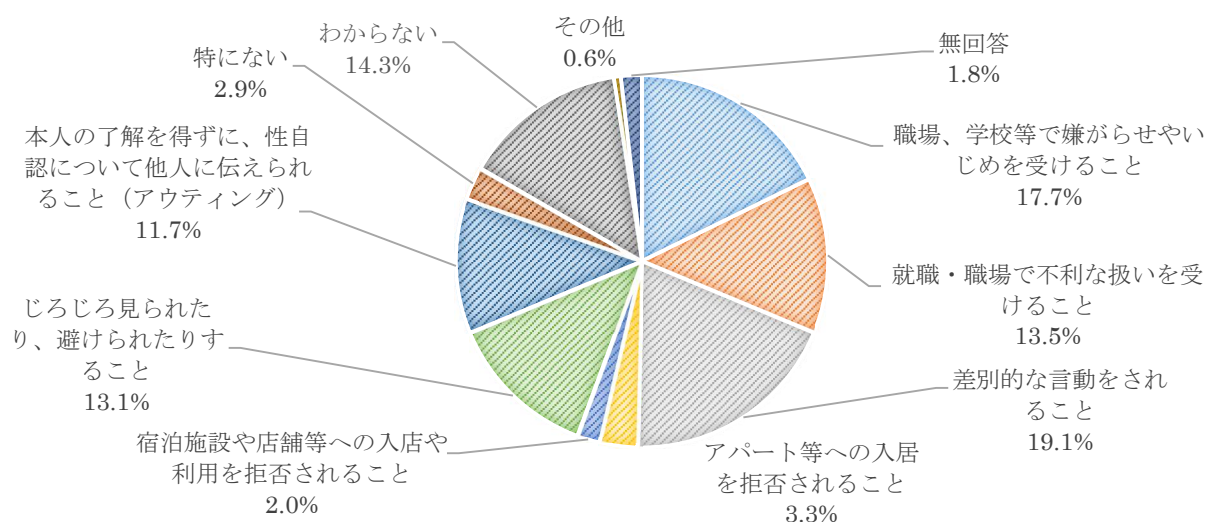


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	言葉の意味も含めて知っている	164	46.7
2	聞いたことはあるが、意味はわからない	120	34.2
3	知らない（初めて聞いた）	53	15.1
4	無回答	14	4.0
	合計	351	100

※「言葉の意味も含めて知っている」が半数以下となっている。

※前回調査なし

問 30 あなたは、性的指向に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（複数回答）

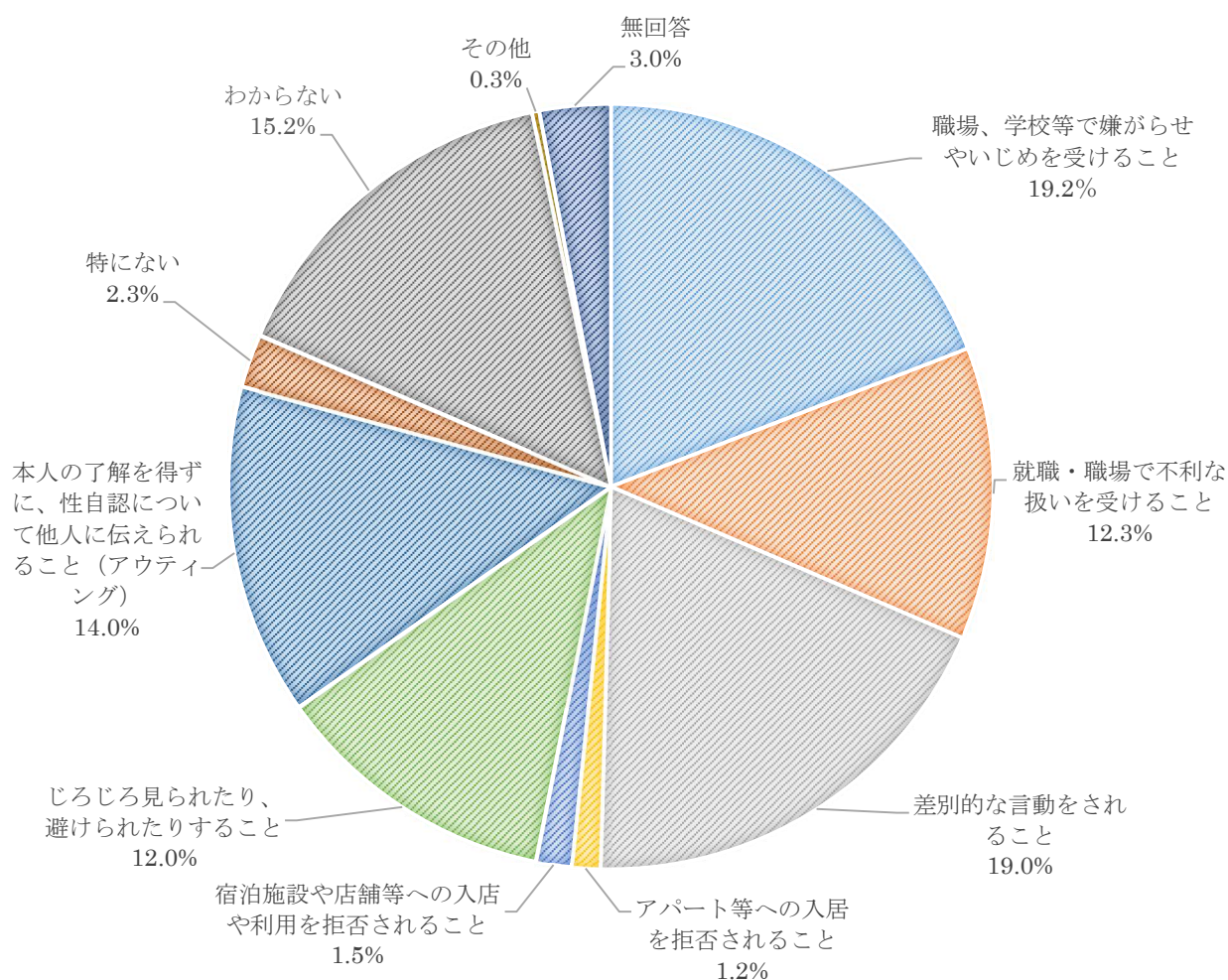


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	118	17.7
2	就職・職場で不利な扱いを受けること	90	13.5
3	差別的な言動をされること	127	19.1
4	アパート等への入居を拒否されること	22	3.3
5	宿泊施設や店舗等への入店や利用を拒否されること	13	2.0
6	じろじろ見られたり、避けられたりすること	87	13.1
7	本人の了解を得ずに、性自認について他人に伝えられること（アウティング）	78	11.7
8	特にない	19	2.9
9	わからない	95	14.3
10	その他	4	0.6
11	無回答	12	1.8
	合計	665	100

※いじめ、不当な扱い、差別的な言動が半数を占めている。

※前回調査なし

問 31 あなたは、「出生時に割り当てられた性別」と「認識する性」が一致しないなど性自認に悩んでいる方に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)



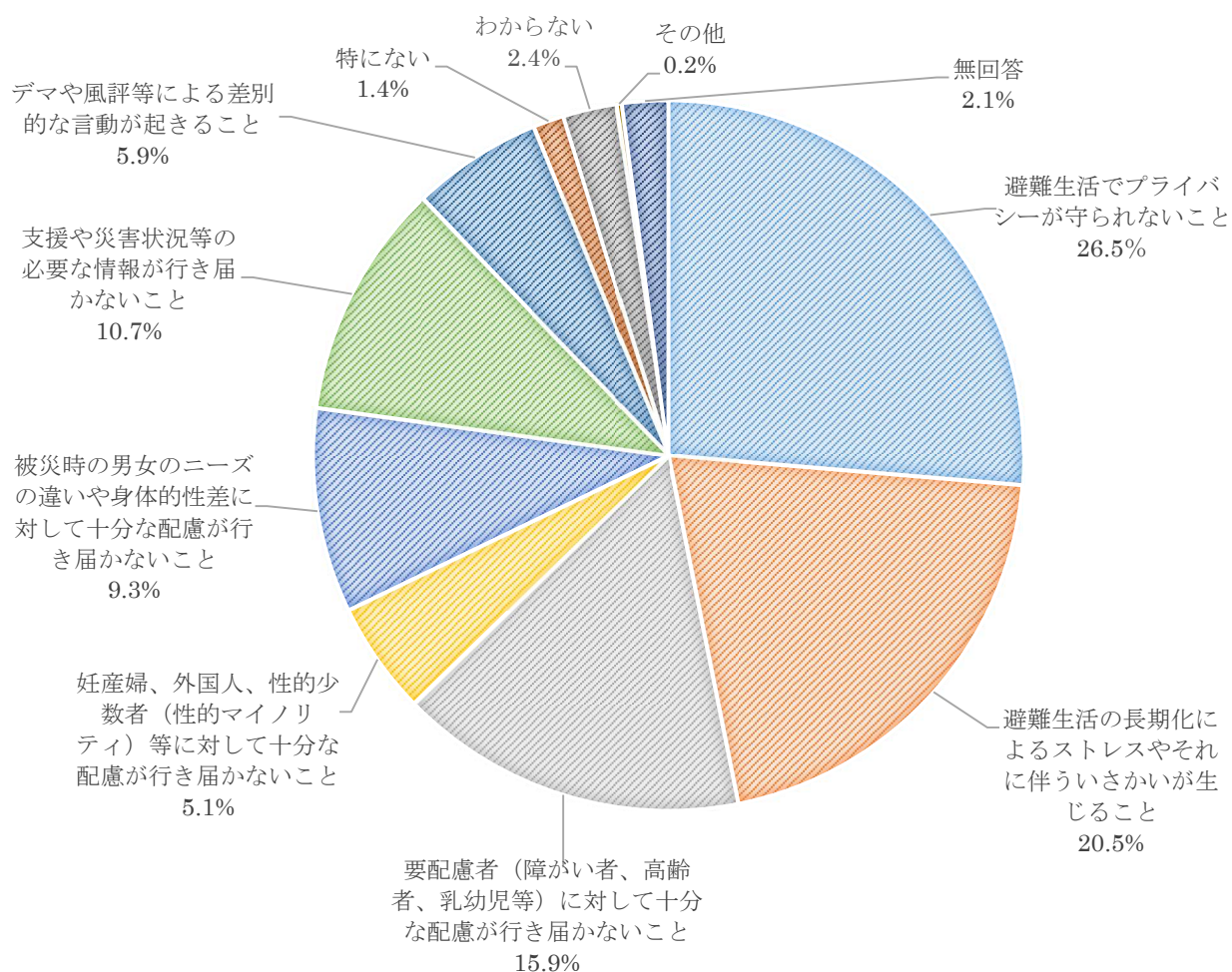
No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	127	19.2
2	就職・職場で不利な扱いを受けること	82	12.3
3	差別的な言動をされること	126	19.0
4	アパート等への入居を拒否されること	8	1.2
5	宿泊施設や店舗等への入店や利用を拒否されること	10	1.5
6	じろじろ見られたり、避けられたりすること	80	12.0
7	本人の了解を得ずに、性自認について他人に伝えられること (アウティング)	93	14.0
8	特になし	15	2.3
9	わからない	101	15.2
10	その他	2	0.3
11	無回答	20	3.0
	合計	664	100

※嫌がらせやいじめ、不利な扱い、差別的な言動が半数を占めている。

※前回調査なし

○災害時の人権について

問 32 あなたは、地震や台風などの災害時において、どのような人権問題が起きると思いますか。
(複数回答)

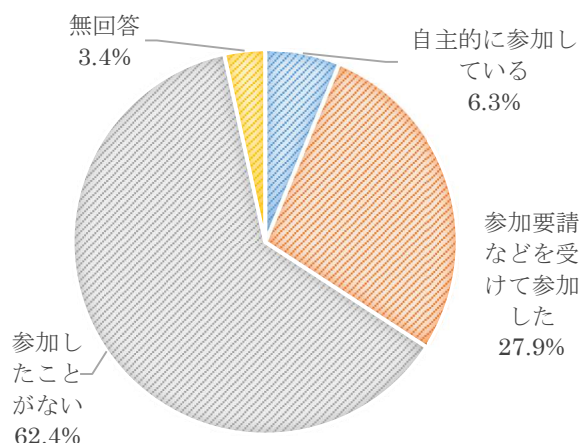


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	避難生活でプライバシーが守られないこと	226	26.5
2	避難生活の長期化によるストレスやそれに伴ういさかいが生じること	176	20.5
3	要配慮者（障がい者、高齢者、乳幼児等）に対して十分な配慮が行き届かないこと	136	15.9
4	妊産婦、外国人、性的少数者（性的マイノリティ）等に対して十分な配慮が行き届かないこと	44	5.1
5	被災時の男女のニーズの違いや身体的性差に対して十分な配慮が行き届かないこと	80	9.3
6	支援や災害状況等の必要な情報が行き届かないこと	92	10.7
7	デマや風評等による差別的な言動が起きること	51	5.9
8	特にない	12	1.4
9	わからない	21	2.4
10	その他	2	0.2
11	無回答	18	2.1
	合計	858	100

※「避難生活でプライバシーが守られないこと」、「避難生活の長期化によるストレスやそれに伴ういさかいが生じること」、「要配慮者に対して十分な配慮が行き届かないこと」が6割を占めている。

○啓発に関して

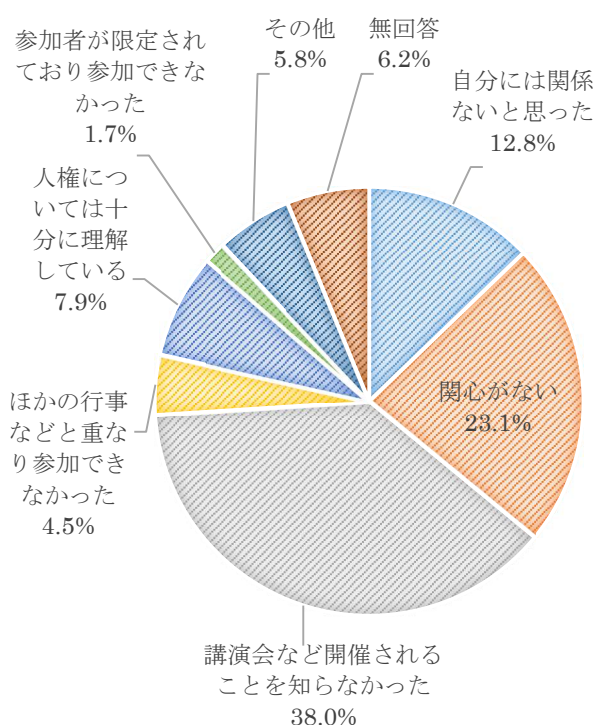
問 33 あなたは、これまで人権に関する講演会や研修会、イベント等に参加したことがありますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	自主的に参加している	22	6.3
2	参加要請などを受けて参加した	98	27.9
3	参加したことがない	219	62.4
4	無回答	12	3.4
	合計	351	100

※「参加したことがない」が6割を超えていて、「自主的に参加している」は1割以下となっている。

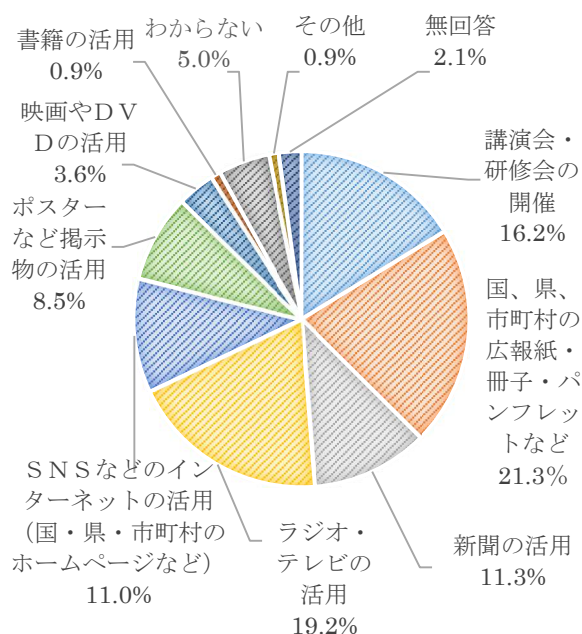
問 33- (1) あなたが、参加したことがない理由は何ですか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	自分には関係ないと思った	31	12.8
2	興味がない	56	23.1
3	講演会など開催されることを知らなかった	92	38.0
4	ほかの行事などと重なり参加できなかった	11	4.5
5	人権については十分に理解している	19	7.9
6	参加者が限定されており参加できなかった	4	1.7
7	その他	14	5.8
8	無回答	15	6.2
	合計	242	100

※「講演会が開催されることを知らなかった」が最も多く、次いで「興味がない」「自分には関係ないと思った」となっている。

問 34 あなたは、どのような方法による広報啓発を行うことが効果的だと思いますか。(複数回答)

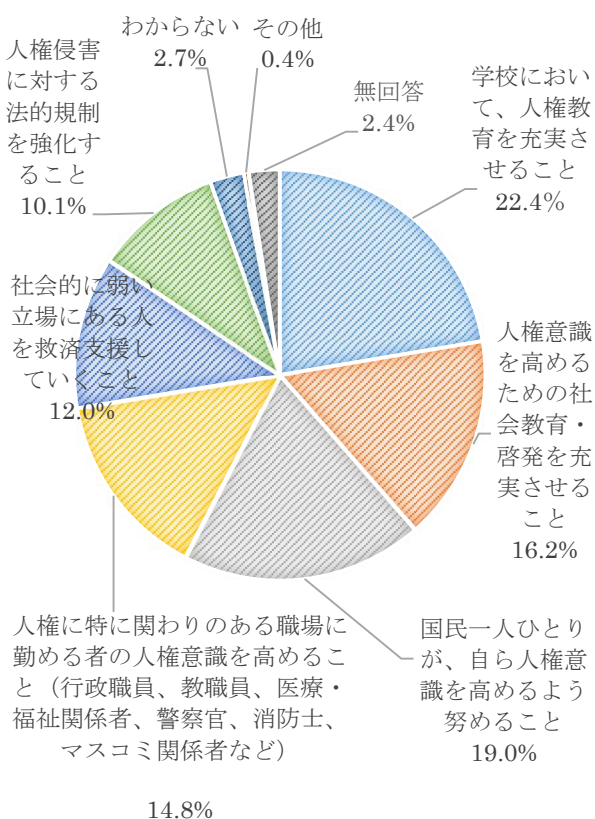


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	講演会・研修会の開催	121	16.2
2	国、県、市町村の広報紙・冊子・パンフレットなど	158	21.3
3	新聞の活用	84	11.3
4	ラジオ・テレビの活用	143	19.2
5	SNSなどのインターネットの活用	82	11.0
6	ポスターなど掲示物の活用	63	8.5
7	映画やDVDの活用	27	3.6
8	書籍の活用	7	0.9
9	わからない	37	5.0
10	その他	7	0.9
11	無回答	16	2.1
	合計	745	100

※「国、県、市町村の広報紙・冊子・パンフレットなど」が最も多く、次いで「ラジオ・テレビの活用」「講演会・研修会の開催」となっている。

○人権が尊重される社会の実現に関して

問 35 あなたは、人権が尊重される社会を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

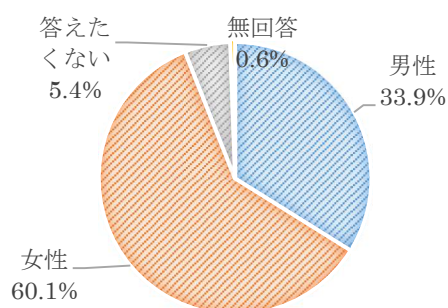


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	学校において、人権教育を充実させること	175	22.4
2	人権意識を高めるための社会教育・啓発を充実させること	127	16.2
3	国民一人ひとりが、自ら人権意識を高めるよう努めること	149	19.0
4	人権に特に関わりのある職場に勤める者の人権意識を高めること	116	14.8
5	社会的に弱い立場にある人を救済支援していくこと	94	12.0
6	人権侵害に対する法的規制を強化すること	79	10.1
7	わからない	21	2.7
8	その他	3	0.4
9	無回答	19	2.4
	合計	783	100

※「学校において人権教育を充実させること」が最も多く、次いで「国民一人ひとりが自ら人権意識を高めるよう努めること」「人権意識を高めるための社会教育・啓発を充実させること」が多くなっている。

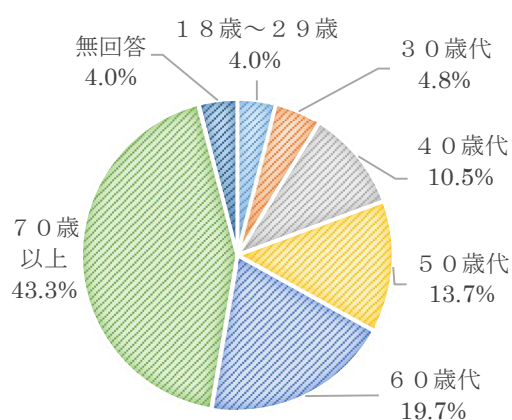
○あなた自身のことについて

●あなたの性別は



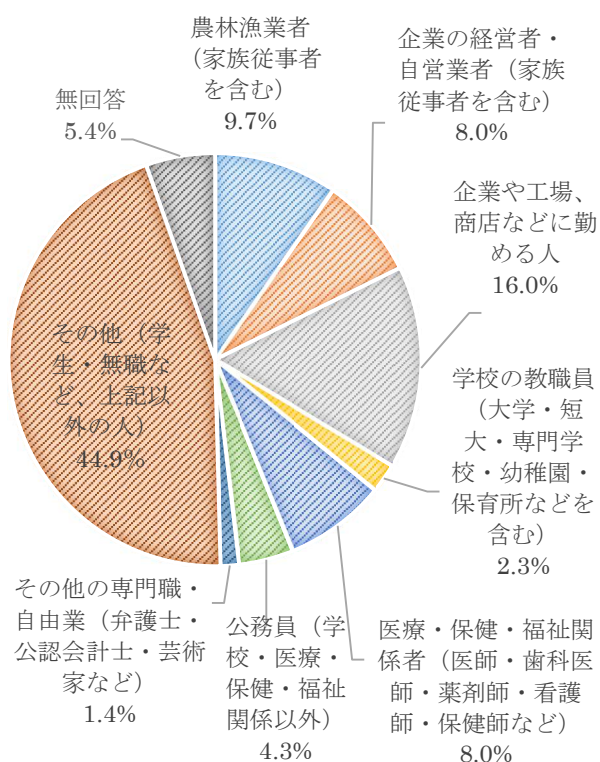
No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	男性	119	33.9
2	女性	211	60.1
3	答えたくない	19	5.4
4	無回答	2	0.6
	合計	351	100

●あなたの年齢は



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	18歳～29歳	14	4.0
2	30歳代	17	4.8
3	40歳代	37	10.5
4	50歳代	48	13.7
5	60歳代	69	19.7
6	70歳以上	152	43.3
7	無回答	14	4.0
	合計	351	100

●あなたの職業は



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	農林漁業者（家族従事者を含む）	34	9.7
2	企業の経営者・自営業者（家族従事者を含む）	28	8.0
3	企業や工場、商店などに勤める人	56	16.0
4	学校の教職員（大学・短大・専門学校・幼稚園・保育所などを含む）	8	2.3
5	医療・保健・福祉関係者（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師など）	28	8.0
6	公務員（学校・医療・保健・福祉関係以外）	15	4.3
7	その他の専門職・自由業（弁護士・公認会計士・芸術家など）	5	1.4
8	その他（学生・無職など、上記以外の人）	158	44.9
9	無回答	19	5.4
	合計	351	100

○自由意見

※自由意見については直接人権同和問題に関する内容のものだけを掲載しています。

・人権を改めて考えることはなかった。取り立てて身の回りにそのような人がいないからだと思うが。同和問題にしても特別な支援が国などよりあったと昔、親に聞いていた。その年代の方も年々減少してきているので多少は少なくなりつつあるのではないか。差別を考える一方、その地域の方々の意識はどうだろうとも考える、支援をうけてあたりまえ、はないだろうかと考える。いずれにせよ刺激すると改善に向かうこともあろうけど寝た子を起こすことはなかろうとも考える。

・人権問題は、人として永遠の課題だと思う。人はその時そのときに直面して考えていかなければいけない。一人でも、また、友だち、家族で。

・人権は人間らしく自分らしく生きることの権利であるが、生い立ちや環境、社会的立場等で気を遣ったり不平不満批判等がつきものであるので、人権擁護はなかなかむずかしい。

・全世界の全軍事兵器全撤廃、全世界の軍隊を解散して災害等レスキュー隊に変更すればとても良い世界になると思って活動しております。たった一人の革命は続く。

・鹿児島県は特に県外の人をよそ者と言い差別することが多かったように思います。最近は県外の人でも多くなり、また県外に出る人も多くその点では差別がなくなりました。これからは外国の人達も自然に差別がなくなると思っています。世界が一つになり平和な差別のない生活を待ち望んでいます。人権の問題、助け合い心の一つにして生きて行く世界を待ち望んでいます。

・人権問題にかぎらず、幼小児の教育が大切であると思う。家庭教育の充実と子どもたちを取り巻く社会、大人たちの言動により児童・生徒を育てることで少しずつでもやっていいこと悪いことの判断力を育成することで全体が少しずつ変わっていくのではないだろうか。そのためには県・市などで大人の生涯学習を重視して継続的な啓発活動を進めていく必要があると思う。

・基本的な人権問題は日本人としては必然なことである。文明国家としては必然である。

・まだ昭和の頃のほうが同和問題やエイズ、拉致問題等学校やテレビ映画などで話題に上がったりしてみんなで考える機会が多かったように思います。あの頃に比べ便利で通信ツールも増えた時代になったからこそ差別というのはなくなることがとても難しい問題なので小さい子からお年寄りまですべての人が自分だったらと考え、少しでも優しい世の中になるような広報啓発をやっていくしかないと思います。知らないからこそ不安感や勝手な思い込みで差別やいじめが起こるでしょうから、きちんとした知識、体験者の声などもっともっと広めていけば今より少しまた少しと良い世の中になるのではないのでしょうか。そうあって欲しいです。

・人権に関する講演会や研修会に現職の時は年一度参加できましたが退職してからは機会がありません。一般の人も参加できるよう考えていただきたいです！

・人権問題なかなか難しい問題です。日頃何も考えずに暮らしている私には難しいと思いました。

・新聞やドキュメンタリーTV, 人との会話で自分の中での大切なことを集めて価値観としています。人それぞれ色んな考えや思いがあって当たり前であり、世の中多様です。それを認め合い支えあえば思いやりや感謝の気持ちが出てきて人として尊重しあえるのだと一市民として考えます。私は、私のできることを迷わず信じてやっていくのみです。

・聞くこと・広く目を向けること・小さなことにも耳を傾けること。

・国民全体的に人権についての理解が足りないのでは。

・職場や学校で基本的人権（男女を問わず）について、色々な講義、著名人などの話を聞く機会を設ける。

・アンケートさせていただく中で勉強になりました。知らないことが多くてもっと関心を持たなくてはと思いました。自分自身も反省しております。平和のために人の幸せを祈りましょう。

・日本国憲法にある一人一人が生まれながらに持っている人権を行政などは基本にして仕事をしてほしいです。水俣病の解決、同性婚の自由、給食費などさっさとすればいいと思います。会計年度職員の処遇改善を。男性が働きすぎ、女性が育児を担うため賃金格差はうまれ、健康的ではありません。1日8時間働くとはとても大変なことです。エッセンシャルワーカーは大した仕事じゃないと思いませんか。命を預かる仕事の人がなぜ働き続けられないといけなくらい給料が低いのか。伊佐ではまず、同性婚（自由な結婚）、選択的夫婦別姓、外国人へ選挙権をすぐにでもすればよいと思います。新庁舎のためにふれあいセンターが変わってしましますが、文化的な場所、孤独な人たちの居場所、子どもたちのたまり場、冷房の入った避難所が使えなくなり、木が切られ公共のトイレが使えなくなり人権を侵害されていると感じました。もう少し弱者の意見、パブリックコメント、ワークショップの意見を大切にしてほしいかったです。公務員は地域のために働くと考えていましたが、たまに敵と思っているのかなと感じます。伊佐で働く公務員の方も人権が守られ、生き生きと働ける場所になっているのかと勝手に心配をしています。

・非課税世帯へは対応が手厚く、課税世帯で一生懸命働いて子育てしてたくさん税金を引かれて苦しい生活をしている人達が、逆に平等ではないと思う。高齢者ばかりに手厚く、働く若者には生きづらい社会だと思う。

・人権問題はとても難しい問題であるが、お互いのちょっとしたところがけで人権問題に限らず世の中良くなると思います。・自分がされていやなことは相手に対してしない・人に迷惑をかけないように自由を楽しむ・少しでも思いやりと気遣いを・郷に入れば郷に従う・人をおとしめることをしない・人をあおらない※お互いが秩序を守る行動を取るということ。しかしネット社会となり今は変化の最中。更に難しい局面となったが固定化するにはまだ長い長い時間がかかると思われる。

・アンケートの中で問われたすべての人権問題について子どもたちの幼い頃から、地域・家庭・教育現場で話題として触れさせていくことが大切なのではと考えます。ここ近年では COVID-19 蔓延下で医療従事者やその家族へ対しての人権問題も起き社会情勢の変動で今までになかった人権侵害も出てきます。国民・市民一人一人が考えていかなければならないことと思います。

・同和、障害関係なく、何でもないことをきっかけに人権侵害は起こりうる。無責任な誹謗中傷にはきちんとして取り締まりをするべき。同和問題が現実的に実感できない。人権問題云々の時にしか目にしないと感じている。

・学校でも職場でも困っている人、いじめられている人、弱い立場の人に対し助け舟を出そうという気持ちが薄く、見て見ぬふりをする。その気持ちを変えていかないと、世の中変わらないでしょう。自分さえよければそれでよし!!そのことが一番問題ではないですか？

・相談窓口の在り方について⇒市民に周知して欲しい。専門職の人（信頼できる人）に相談できたらいいと思う。対面がいやな人への対応（電話相談）誰に相談したらいいかわからないなど。

・報道や新聞などでよく目にしていることがあります。それは、個人情報漏らしてはならない方達が、普通に居ることです。絶対にあってはならない事です。これからも一人一人の意識を高められることを希望いたします。

・利己的な考え方が強くなっていると感じます。利他の気持ちを持てるように、学校でも職場でも気を付けられたいと思います。先生が指導の時に、職場でのコミュニケーションに。仏教の教えなので、日本人に合っていると思います。他の人の利益をまず考えるということは、お互いの人権も尊重されると思います。

・基本的人権は皆平等にあると言うのが当たり前ですが、現実には様々な差別や偏見が、まだまだ普通に見聞されます。弱い立場の方々を守ってあげられる世の中になってもらいたいです。

・学ぶが大切だと思います。

- ・高齢者はインターネット等あまり使用しないので、新聞等で広報啓発を行ってほしいです。

- ・ネット社会であるがゆえの問題も多発している。子どもを取り巻くネット環境（SNS とのつながり方、利用時間等）について、家庭での制御できないところまできているので、行政がある程度の権限をもってコントロールしなければ、まだまだ深刻化するのではないかと心配。

- ・まずはこのアンケートに参加させていただき、それぞれの場面で苦労されている方がいるのだと改めて感じ、考えさせられました。改めて相手の立場に立って寄り添う気持ちの大切さを感じました。

まず人権問題に一言と言っても、自分がされたら嫌なことをしないといろんな場面で良く使われますが、親切心であっても相手にとっては不快だと受け取られることもあると思います。まずはコミュニケーションや表情を読み取って相手の気持ちに寄り添って理解してお互いの認識が共通してから行動をすることが大切ではないかと思います。（察してほしい、このくらいは気づかないとおかしいというのは主観でしかないです。）

また、行政サービスに関してもしてもらって当たり前だという意識を市民がもっている時点で欲がでて、行政の方が努力していても、満足できず不満にしかならないと思います。

また、良く市議会の中でも議員や市民が訴えるときはどこか怒りが入っていて、そこに聞く人も視点がたって緊張してパフォーマンスの力が落ちてしまっているのかなと。市民一人一人が感情を抜きにして意見を述べていければ、広い視野での問題解決につながるのだと思います。

自分の意見が取り入れられると思えば、嬉しいですし、褒められて嫌な人はいないと思います。

ソフト面の部分で心地の良い言葉遣いや結果的に同じ不満でも伝え方を柔軟にする、そこからでも始められれば少しでも穏やかな人権の守られた生活に近づけるのではないのでしょうか。